

日本歯科東洋医学会 九州支部講演会

—明日からの臨床に東洋医学の知恵を—

特別講演

- 1 これからはじめる、明日から使える歯科漢方薬 11:00~13:00
久保 茂正 くぼ歯科・くぼ鍼灸院院長
- 2 ポテンシャルを活かした鍼灸 14:00~16:00
高野 義章 鍼灸『高野』代表

九州支部理事講演 9:15~10:50

- 1 舌下鍼法による臨床 平野 尚史
- 2 東洋医学を臨床に取り入れた歯科治療 井上 泰子
- 3 歯原病について 中島 龍市

受講料

当日受付(弁当なし)：歯科医師 10,000 円 学生・パラデンタルスタッフ 5,000 円
事前登録(弁当あり)：歯科医師 9,000 円 学生・パラデンタルスタッフ 5,000 円
事前登録締切：8月5日(期日までの振込を事前登録とします)
振込の後、下の申込書を 0944-53-6421 までファックスしてください

振込先：西日本シティ銀行 春日原支店 普通預金口座 1807081
日本歯科東洋医学会 九州支部会計 根木 一
整理の都合上、振込は法人名でなく個人名でお願いします

福岡県歯科医師会館

2013年8月25日(日) 9:00~16:00

日歯生涯研修ICカードをお持ちください

-----切り取り線-----

参加申込書(事前登録用) 締切:8月5日 Fax 0944-53-6421

フリガナ		
氏名	電話	Fax
	E-Mail	
住所 〒	-	
勤務先	電話	Fax
勤務先住所 〒	-	
振込金額	円 本紙は一人、一枚の記入をお願いします(コピー使用可)	

**Fax する前に必ず
振込をお済ませく
ださい**
振込のない Fax は
無効で、事前登録の
扱いとはなりません。

問合せ先：
九州支部事務局
平野歯科クリニック
平野 尚史
〒836-0846
大牟田市右京町 69
電話・0944-53-6421
Fax・0944-53-6421

これから始める

明日から使える歯科漢方薬

～保険適応7方剤処方のお勧め～

大阪府和泉市 くぼ歯科・くぼ鍼灸院
院長 久保 茂正

平成24年4月より歯科でも漢方薬7方剤の保険導入が認められました。

それぞれ歯痛、口内炎、口渇、歯槽膿漏症の適応病名ですが、果たして病名に対する処方漢方薬は効果あるのでしょうか？

本来、漢方薬は病名ではなく、「証」に対して処方して効果を発揮します。このような東洋医学の基本的な診断方法はこれまでの大学教育の中では教えられなかったことです。この講演会で東洋医学の診断方法と処方の勘どころをマスターしましょう！

- ・立効散：歯牙痛，抜歯後の疼痛，歯齦炎 清熱（解表）剤
- ・半夏瀉心湯：口内炎 和解剤
- ・黄連湯：口内炎 和解剤
- ・茵陳蒿湯：口内炎 清熱（利湿）剤
- ・五苓散：口渇 利水剤
- ・白虎加人参湯：口渇 清熱（瀉火）剤
- ・排膿散乃湯：歯槽膿漏，歯齦炎 清熱（解毒）剤

歯科で漢方薬を処方する場合その根拠、よりどこにしたいのが望診の一つの舌診です。舌診とは舌の色、形、舌苔の色、質などから全身状態を診断することです。弁証に重要な舌診方法について解りやすく解説します。

GA、AA、P急発、Pericoなど急性炎症の多くは「実熱」証で「瀉」剤の適応になります。長期経過の粘膜疾患や慢性疾患の多くは、「気虚」証がベースにあり、「補」剤の適応になります。具体的な病名と弁証の関係、それに対する処方について解説いたします。

略歴：

1984年大阪歯科大学卒業、
1996年くぼ歯科・くぼ鍼灸院開業、
大阪歯科大学歯科東洋医学室非常勤講師、
大阪鍼灸専門学校卒業はり師・きゅう師免許取得、
大阪大学博士（歯学）、
日本歯科東洋医学会認定医、日本歯科色彩学会認定士、
日本歯科東洋医学会専門医、指導医



ポテンシャルを活かした鍼灸

福岡市南区 鍼灸『高野』

代表 高野 義章

鍼灸の臨床研究は、「病名鍼灸＝〇〇病に対し～手技で△△穴を刺激」といった報告が多い。これをテコの原理に例えると、作用点（治療目的）を中心に意識したものである。支点を体質

や個性差とすれば、力点（技術・経穴）は同一ではなく千差万別になってくる。東洋医学で表現すると「同名異治」（弁証や病名が同一であっても治療方法は異なる）である。鍼灸は、経穴や手技の習得ばかりではなく、生体（病態）を入念に観察する事が肝要ではないかと感じる。治療側は、決して知識が先走ることなく、心耳を澄まし、ポテンシャル（潜在能力）や五感を最大限に活かし、生体観察を入念に行わねばならない。日常の歯科診療において、病名と鍼灸をダイレクトに結び付けるだけでなく、診療中の患者様にポテンシャルを活かし観察することで、どのような目的で鍼灸治療を行えば良いのか、自然と見えてくるはずである。その結果、歯科診療へ幅広い鍼灸アプローチが見出され、応用範囲が幾多にも広がっていくのではなかろうか。



略歴：

1974年熊本県生まれ。
1996年鹿児島鍼灸学校卒業（鍼灸マッサージ師）
同年～2012年、国内漢方界の重鎮である原敬二郎先生に師事する傍ら、医療法人恵光会原病院並びに原クリニックにて勤務。鍼灸は、鍼灸学生時代より先代の高野敦子に手解きを受け、日本伝統鍼灸学会元会長の首藤傳明先生に15年以上師事。
12年7月、「高野」（福岡市南区に2施設）を設立。
主な研究課題は、「医療機関と鍼灸師の連携システム」を中心に、「漢方処方医師との本格的連携模索」などを、10年ほど前より学会や研究会等で報告や講演を行っている。
福岡市南区医師漢方研究会鍼灸学講師歴任。